



平成 30 年 11 月 2 日

報道機関 各位

国立市役所市長室広報・広聴係

申込  
不要

私は認知症ですと言えるくにたちをめざして

## 「第 7 回国立市認知症の日」 イベントを開催します

費用  
無料

市では平成24年に、毎年10月の第3土曜日を「国立市認知症の日」に制定しました。

2025年には、認知症高齢者の数は700万人を超えると予想されています。これは、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になる想定です。国立市においても、認知症の方は増加傾向にあります。

市では、認知症になっても、本人の意思が尊重され、本人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするための取組の一つとして、今年も「第7回国立市認知症の日」イベントを開催します。

ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

### 記

1. 日 時 12月2日(日)午後1時～4時30分(開場：正午)

2. 場 所 一橋大学 兼松講堂(国立市中2-1)

### 3. プログラム

- 国立音楽大学附属中学校・高等学校合唱部による合唱
- 認知症当事者の方々と共に歌う懐かしいメロディー
- 対談「認知症になってもだいじょうぶ！そんな社会を創っていこうよ」
  - 登壇者：藤田 和子氏(日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事、認知症の本人)
  - 永田 久美子氏(認知症介護研究・研修東京センター研究部 部長)
- シンポジウム「認知症鉄道事故裁判から考える家族介護と地域のあり方」



- コーディネーター：新田 <sup>につた</sup> 國夫氏(国立市在宅療養推進連絡協議会 代表)
- 基調報告：高井 隆一氏(高井不動産事務所 代表、遺族)
- シンポジスト：高井 隆一氏、浅岡 輝彦氏(あさひ法律事務所 弁護士)、藤田 和子氏、永田 久美子氏

問い合わせ

国立市認知症の日実行委員会事務局  
(国立市在宅医療相談窓口)

TEL：042-569-6213(平日午前9時～午後5時)